

公立刈田綜合病院について

大野 栄光



された時、刈田病院の情勢をどのように把握されていたのか伺う。

〔質問〕これまで刈田病院問題は、市議会での審議はタブー視され、病院議会だけの議論とされてきたが、今回、二度にわたる議員との懇談会により、市長から喫緊の行き詰まった病院経営について詳細な説明を受けた。

他方、厚生労働省は、刈田綜合病院とみやぎ県南中核病院を重点支援区域に指定することで機能の再編・統合を促し、国は優先的に財政支援するほか、厚生労働省職員が直接助言し、再編のモデルケースとしたとの新聞報道があった。
市長は、4年前就任

なものであり、着実に進めていくと同時に、刈田病院内部の改革を進めるため、あらゆる方策をとっていく必要があると考える。

〔答弁〕市長「市民の命と健康を守るとりてとして、本市になくはならない病院であるが、経営状況については、二市二町の補助金に依存したものであり、今後の見通しには不安を抱いていた。

また、就任時には平成29年度の繰出金として約16億円を予算計上することが決まっており、地域医療を守るためとはいえ、多額の繰り出しは市の財政に大きな影響を及ぼすのではないかと危惧していた。
〔質問〕市長は公設民営の持論をお持ちだが、どのような構想なのか。
〔答弁〕市長「中核病院との連携プランは必要

福岡歩道橋について

佐藤 秀行



なっている。契約が整い次第、関係者との協議を進め、順調に進めば8月頃から工事着手予定である。
◎今後の学校教育について

〔質問〕県道白石上山線福岡歩道橋については、児童・生徒が安心して登下校できるよう、安全面に配慮しながらの補修、修繕など早急な対応が必要と考える。

今後どのように維持管理されるのか、また、これまでの工事の進捗状況と今後の対応について伺う。

〔答弁〕市長「老朽化による劣化が著しいことから、管理者である宮城県に対し、早期の補修工事着手について要望してきた。
令和元年度に測量設計業務を実施、令和2年度の工事完成に向け、工事発注の手続きを行

いと考えており、その際は、退職された先生方にもぜひご活躍いただければと考える。

〔質問〕マスクをしながら長時間授業を行うことについて、特に小学校の先生は、連続して授業を行うことが多いことから、精神的にも肉体的にも負担が大きいと考える。

そんな中、口元の温度上昇を抑え、蒸れと息苦しさを緩和したマスクの発売が予定されている。そのようなマスクの購入を検討してはどうか、見解を伺う。

〔答弁〕教育長「気温の上昇とともに、マスクをすることによる感染症の予防対策と熱中症対策は教育委員会としても大変懸念している。
国からの補助金を有効に活用する際に、多機能なマスクについても、各学校に呼びかけて、購入などを働きかけていきたい。